

事業所名

運動と言葉の教室にか

支援プログラム

作成日

R7

年

3

月

28 日

法人（事業所）理念		運動療育と言語療育を通してお子さまに幸せを提供する。									
支援方針		リハビリ専門職員と保育士が連携を図り、運動療育と言語療育プログラムを提供する。集団での運動療育を通して、小学校生活で必須な、順番を守るや先生の話聞く等の能力の学習も行っています。運動では体幹・下肢筋力の向上やバランス能力の向上を目指し支援します。言語療育では、言語聴覚士の個別プログラムや集団プログラムを提供しています。微細課題にも挑戦してもらい、集中して制作を行う中で、手先の微細能力の向上を目指しています。									
営業時間		11	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	ADLの向上を目指し支援します。健康面では、運動を通して活動量の向上を図ったり、小学校生活で始まる縄跳びや跳び箱の練習等も行います。また、月齢の低いお子さまの場合は、トイレトレーニングまではいきませんが、トイレへの誘導を随時行うアプローチをします。保育園との連携を図り、園生活での困りごとや園での生活背景をもとに療育現場に落とし込みを行います。									
	運動・感覚	運動療育を通して、体幹や下肢・バランスのトレーニングを行います。小学校生活になり始まる、縄跳びや跳び箱・鉄棒の練習も行っています。運動療育では、2重課題を通してお子さまの脳へのアプローチを行います。特に脳機能の前頭前野に対するアプローチを行い、多動性や衝動性の制御・身体機能の向上・協調性の向上を目指して支援しています。感覚は運動療育を通して、頭頂連合野にアプローチを行い、状況判断や行動の決定につなげるように支援しています。									
	認知・行動	集団行動の中で、先生の話している内容を理解するや、お友達のおこなっていることの理解をするということは非常に重要です。ルールの理解ができるようにならないと、集団生活ではかなりの支障をきたします。そのため、運動療育を集団で行い、その中でルールの理解や感情の切り替え・お友達と協力する等の能力向上を目指して支援しています。									
	言語 コミュニケーション	言語能力では、人の言葉を理解するという機能と理解した言葉から何を発するかを脳内で処理しています。その能力が言語能力に大きな差を生むため、集団や個別での対応をしています。主に、言語聴覚士が絵カードを用いて語彙の習得や文章校正の獲得を行います。小集団を作りお友達とのおもちゃ等の貸し借りの中でコミュニケーションを図ったり、人と話すことのたのしさを学習してもらいます。また、語彙が不明瞭な場合は、発音の練習も実施しています。									
	人間関係 社会性	保育スタッフやお友達との関わりの中で、人間関係や社会性の学習を行います。アスペルガーやADHDのお子さまは、人との距離感がわからなかったり、一方的に話をしがちなので、ソーシャルスキルトレーニングを行い、社会性や人間関係の構築に関して学習を行います。									
家族支援		本児の事業所での様子や成長面などについて、保護者への報告や連絡などを療育終了後に行い、本児の困りごとに対しての相談等について、児童発達支援管理責任者や各専門職も交えたご対応をさせて頂きます。					移行支援		保護者からのご希望に応じて、本児の課題や困りごとに対して保育園への訪問による観察や園関係者との情報共有・連携についても実施いたします。情報共有につきましては園の担当者とも密に連携をとり、本児の園での現況の把握に努めていきます。		
地域支援・地域連携		各関係者との情報共有や、連携などを実施するとともに、各種の関係機関に関しても、保護者等からの希望があれば本児の課題や困りごと・支援の方法などについて情報共有や連携などを実施してまいります。					職員の質の向上		月1回の事業所内研修や外部研修を通してスタッフの能力向上を行っています。		
主な行事等		行事等は基本的に行っていませんが、今後は親子教室のような形で、普段の様子を見ていただく機会を作っていくように取り組んでいきます。									